

Scoop

2000年9月

セディアワゴン

三菱

10月号でスクープしたセディアワゴンのカラー写真をGET!!

ロングルーフとプレーンなリアゲートが見せる流麗なフォルムは、ここに掲載したとおり、同クラスのステーションワゴンでは味わえない質感をもたらしている。

グレード展開は1・8リットルGDIが「エクシード」と「ツーリング」、それに法人ユーザーを狙った「TS」の3タイプ。同ターボは「Tツーリング」と「ラリーアート・エディション」から構成される。グレード別の販売構成比も別表に示したが、スポーツモード6-CVTを採用した「ツーリング」が量販タイプとなる見込みだ。



[↑ zoom](#)

10月号ではモノクロでしか紹介できなかったのを、改めてセディアワゴンのリアビューをカラーで掲載しよう。Dピラーに内蔵された細長いリアコンビランプと、プレーンなハッチゲートが斬新なイメージを演出している。

外観を彩るボディカラーは、「シルキーホワイト」「シンフォニックシルバーM」「サテライトシルバーM」「レガートグレーM」「アメジストブラックP」「フォレスタグリーンP」「ローズレッドM」の7色がグレードに応じて設定される。ちなみに、内装色はエクシードがブラウン系ツートン、ツーリング系がブラック単色となる。

※リコール騒動を受け、三菱に対して運輸省からの型式指定が出なくなったため、セディアワゴンも含め、今秋発売予定の新型車すべて延期に。



[↑ zoom](#)



[↑ zoom](#)

インパネ造型はセダンと同じだが、シルバー色のパーツを配することでスポーティな雰囲気がかもし出されている。上級グレードには写真のMOMO社製ステアリングホイールも標準装備。

6：4分割式リアシートはヘッドレストやリクライニング機構も備え、後席乗員にも快適なドライブを提供してくれる。また、アームレストは廉価グレードを除いて全モデルに装備される。

■セディアワゴンのグレード展開（編集部良予想）→[表](#)

■セディアワゴンとライバル車のサイズ比較（編集部良予想）→[表](#)

「ラリーアートエディション」



[↑ zoom](#)

内外装だけでなく、足まわりにもチューニングが施されたスペシャルグレード「ラリーアートエディション」。16インチアルミホイールも専用アイテムだ。

ゴメンなさい！でもハズしたのは本誌だけじゃなかった

セディアワゴンの存在をいち早くキャッチした本誌スクープ班は、7月号で大胆にも予想イラストを掲載した。しかし、少ない情報をもとに予想したため、大きくハズしてしまいました。読者のみなさん、ゴメンなさい！

ところで、某RV専門誌「FENOK」にソックリの予想CGを発見。Dピラーの角度やリアクォーターウィンドウの形状まで寸分くわらない仕上がりだった。本誌スクープ班と感性がピッタリの編集部員がいらっしゃるようで、スクープ班もビックリでした！



●本誌7月号（5月26日発売）



●FENOK7月号（6月10日発売）

▲戻る







